

「医療機関の利用実態等に関する実態調査」のまとめ（要点）

1. 調査の概要

対象：三和地域在住の 20 歳以上 2,437 人 回答：1,442 人 回答率：59.17%

2. 回答者の特徴（年齢・世帯） <問 1・3>

65 歳以上が約 64% で、高齢者の回答が多い (p. 1)

世帯構成は「夫婦のみの高齢世帯」が最も多い

→ 「ひとり暮らし」や「夫婦のみ世帯」は高齢者の割合が多い (p. 3)

3. 医療機関受診で困っていること <問 4>

困りごと（複数回答）の上位 (p. 4)

救急時に時間を要する … 38.8% 急病時にすぐ診察可能な医師がない … 36.0%

医療機関への交通手段 … 26.8% 特にない … 30.6%

→ 交通手段の問題は高齢者の回答割合が多い

4. 三和地域の診療所の利用状況 <問 5・7・8>

菟原診療所を利用したことがある … 20.5%

三和診療所を利用したことがある … 21.4%

利用したことがない … 59.8% (p. 5)

利用理由（複数回答）の主なもの (p. 7)

自宅や職場から近い … 65.2% 必要な医療を受けられた … 25.5%

利用しなかった理由（複数回答）の主なもの (p. 8)

他にかかりつけ医がいる … 55.5% 受けられる医療が限られている … 29.2%

診療日・診療時間が合わない … 26.9%

5. かかりつけ医の有無と受診頻度 <問 9・10>

かかりつけ医がある … 74.8% ない … 21.5% (p. 9)

かかりつけ医の受診頻度（かかりつけ医ありの人のうち） (p. 10)

1か月に1回程度 … 44.5%（最も多い）

6. 診療所再開へのニーズ <問 11>

「三和地域に診療所が再開した場合の利用意向」 (p. 11)

利用しない … 36.2% 何日であっても利用する … 20.2%

「週5日」「週4～3日」「週2～1日」など条件付きで利用する人を含めると、条件次第で利用する層は合計で約 53.9%

7. 将来の不安（医療・暮らしに関して） <問 13>

不安に思っていること (p. 12)

免許返納後の交通手段 … 57.6%（最多）自身の体調管理 … 50.0%

家族の看護・介護 … 30.4% 看護・介護してくれる人がいない … 18.3%

（裏面へ続く）

まとめ（要約）

回答の中心は高齢者で、「救急・急病時の対応」と「交通手段」に強い不安がある。

三和の診療所は「近さ」で一定のニーズがあった一方、「医療内容の限界」や「かかりつけ医が他にいる」ことから利用しない人も多かった。

三和地域に診療所が再開した場合の利用意向は、「利用しない」が36.2%である一方、「何日であっても利用する」が20.2%、「週5日」「週4~3日」「週2~1日」など条件付きで利用すると回答した層を合わせると、条件次第で利用する層は53.9%に達しており、このことからも、「全くニーズがない」のではなく、診療日数や体制が整えば利用したい住民が半数強存在している。（p. 11）

将来は「免許返納後の移動手段」と「自分の健康管理」への不安が特に多く、移動手段と健康・介護に関する不安が複合している。（p. 12）

担当：福知山市健康福祉部保険年金課

電話：0773-24-7019

メール：hoken@city.fukuchiyama.lg.jp